

2026年5月8日

国際映像祭「ワールド・メディア・フェスティバル」で k h b 東日本放送が「銀賞」を初受賞！



k h b 東日本放送(本社・仙台市太白区)が2024年3月に制作・全国放送したテレメンタリー2024“3.11”を忘れない93「100人の証言 命をつなぐ津波避難」が、ドイツの国際映像祭「World Media Festivals (ワールド・メディア・フェスティバル)」のドキュメンタリー部門で「銀賞」を受賞しました。k h bとしては初めての受賞となります。

今回受賞した作品は、東日本大震災で生き残った石巻市南浜門脇地区の住民100人の証言とあわせ当時の避難行動をCGで再現し、津波避難の教訓を伝えたドキュメンタリー番組です。国内では「第66回科学技術映像祭」で最高賞となる「内閣総理大臣賞」を受賞しました。

「ワールド・メディア・フェスティバル」は2000年からドイツで開催されている、テレビ番組等の優れたコンテンツを表彰するヨーロッパ最大規模の国際映像祭です。2026年は34の国と地域から803作品がエントリーされました。

k h b 東日本放送は今後も、東日本大震災を経験した地元の放送局として、命を守る教訓を全国に、そして世界に伝え続けてまいります。

【お問い合わせ】

株式会社東日本放送 コミュニケーションプロデュース部
TEL: 022-304-3015 MAIL: koho@khhb-tv.co.jp